

新型 コロナ

検査陽性率が急上昇

補償付き 休業要請早く

参院予算委で 山添拓議員



質問する山添拓議員＝16日、参院予算委（写真提供「しんぶん赤旗」）

日本共産党の山添拓議員は16日の参院予算委員会で、東京都を中心とする新型コロナウイルス感染の急速な拡大を受け、「GoToキャンペーン」の全面実施は見送り、検査体制の大幅な拡充や補償付きの休業要請を業種と地域を限定してただちに行うよう求めました。

山添氏は、新宿区のPCR検査スポットの実績では、陽性率が6月末から跳ね上がり、6月のデータでは、陽性率が飲食業（夜間の接客業含む）で31%、無職・フリーター等で23.6%となっていることをあげ、参考人の認識をたどりました。

東京大学先端科学技術研究センターがん・代謝プロジェクトリーダーの児玉龍彦氏は「非常に危険だ。『自己責任』『ガイドラインを守れ』といっても（感染防止は）無理だ。検査システムをつくって、集約的にやり、機械化する。これを今日からすぐやらないと、本当に大変だ」と検査体制の拡充の必要性を強調しました。

また、山添氏が「補償があってこそ休業要請も実効性が確保できるのではないかと」と聞くと、尾崎治夫東京都医師会会長は「現行の法の中では、そういった形が一番望ましい」と答えました。

一方、西村康稔経済再生担当相は「一般的な方ではなく、濃厚接触者の陽性率だ」と答弁。山添氏は「濃厚接触者の範囲でしかPCR検査を行っておらず、本来の感染状況がどこまで広がっているかの全体像すら把握できていないということだ」と指摘しました。

新宿区における職種別陽性者数

	6月暫定値		
	受診者 (人)	陽性者 (人)	陽性率
飲食業 夜間の接客業含む	429	133	31.0%
会社員等	381	14	3.7%
学生	80	3	3.8%
無職・フリーター等	208	49	23.6%
不明	168	27	16.1%
合計	1266	226	17.9%

表は新宿区が日本共産党区議団に示した資料から山添事務所が作成したもの

今こそ

命とくらしを守る政治に全力!!

引き続き、医療体制・PCR検査・補償の充実、拡大などを求めています。

予算委員会質問の動画は
こちらから視聴できます



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党

新型 コロナ

検査陽性率が急上昇

補償付き 休業要請早く

参院予算委で 山添拓議員



質問する山添拓議員＝16日、参院予算委（写真提供「しんぶん赤旗」）

日本共産党の山添拓議員は16日の参院予算委員会で、東京都を中心とする新型コロナウイルス感染の急速な拡大を受け、「GoToキャンペーン」の全面実施は見送り、検査体制の大幅な拡充や補償付きの休業要請を業種と地域を限定してただちに行うよう求めました。

山添氏は、新宿区のPCR検査スポットの実績では、陽性率が6月末から跳ね上がり、6月のデータでは、陽性率が飲食業（夜間の接客業含む）で31%、無職・フリーター等で23・6%となっていることをあげ、参考人の認識をたどりました。

東京大学先端科学技術研究センターがん・代謝プロジェクトリーダーの児玉龍彦氏は「非常に危険だ。『自己責任』『ガイドラインを守れ』といっても（感染防止は）無理だ。検査システムをつくって、集約的にやり、機械化する。これを今日からすぐやらないと、本当に大変だ」と検査体制の拡充の必要性を強調しました。

また、山添氏が「補償があってこそ休業要請も実効性が確保できるのではないかと」と聞くと、尾崎治夫東京都医師会会長は「現行の法の中では、そういった形が一番望ましい」と答えました。

一方、西村康稔経済再生担当相は「一般的な方ではなく、濃厚接触者の陽性率だ」と答弁。山添氏は「濃厚接触者の範囲でしかPCR検査を行っておらず、本来の感染状況がどこまで広がっているかの全体像すら把握できていないということだ」と指摘しました。

新宿区における職種別陽性者数

	受診者 (人)	陽性者 (人)	陽性率 6月暫定値
飲食業 夜間の接客業含む	429	133	31.0%
会社員等	381	14	3.7%
学生	80	3	3.8%
無職・フリーター等	208	49	23.6%
不明	168	27	16.1%
合計	1266	226	17.9%

表は新宿区が日本共産党区議団に示した資料から山添事務所が作成したもの

今こそ

命とくらしを守る政治に全力!!

引き続き、医療体制・PCR検査・補償の充実、拡大などを求めています。

予算委員会質問の動画は
こちらから視聴できます



参議院議員（東京選挙区選出）

やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

新型 コロナ

検査陽性率が急上昇

補償付き 休業要請早く

参院予算委で 山添拓議員



質問する山添拓議員＝16日、参院予算委（写真提供「しんぶん赤旗」）

日本共産党の山添拓議員は16日の参院予算委員会で、東京都を中心とする新型コロナウイルス感染の急速な拡大を受け、「GoToキャンペーン」の全面実施は見送り、検査体制の大幅な拡充や補償付きの休業要請を業種と地域を限定してただちに行うよう求めました。

山添氏は、新宿区のPCR検査スポットの実績では、陽性率が6月末から跳ね上がり、6月のデータでは、陽性率が飲食業（夜間の接客業含む）で31%、無職・フリーター等で23.6%となっていることをあげ、参考人の認識をただしました。

東京大学先端科学技術研究センターがん・代謝プロジェクトリーダーの児玉龍彦氏は「非常に危険だ。『自己責任』『ガイドラインを守れ』といっても（感染防止は）無理だ。検査システムをつくって、集約的にやり、機械化する。これを今日からすぐやらないと、本当に大変だ」と検査体制の拡充の必要性を強調しました。

また、山添氏が「補償があってこそ休業要請も実効性が確保できるのではないかと」と聞くと、尾崎治夫東京都医師会会長は「現行の法の中では、そういった形が一番望ましい」と答えました。

一方、西村康稔経済再生担当相は「一般的な方ではなく、濃厚接触者の陽性率だ」と答弁。山添氏は「濃厚接触者の範囲でしかPCR検査を行っておらず、本来の感染状況がどこまで広がっているかの全体像すら把握できていないということだ」と指摘しました。

新宿区における職種別陽性者数

	受診者 (人)	陽性者 (人)	陽性率 6月暫定値
飲食業 夜間の接客業含む	429	133	31.0%
会社員等	381	14	3.7%
学生	80	3	3.8%
無職・フリーター等	208	49	23.6%
不明	168	27	16.1%
合計	1266	226	17.9%

表は新宿区が日本共産党区議団に示した資料から山添事務所が作成したもの

今こそ

命とくらしを守る政治に全力!!

引き続き、医療体制・PCR検査・補償の充実、拡大などを求めています。

予算委員会質問の動画は
こちらから視聴できます



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党